

価値っと盛りっと！

パンチの再研磨が可能なこと、ご存知ですか？ ハイス材の高騰に再研磨で対抗！

レアアース関連の件でハイス系材料が大幅に値上がりしています。なので！少しでもコスト低減に貢献できる手法として、パンチメーカーでのパンチの再研磨をご紹介します。

再研磨のコスト面での有用性

粉末ハイス鋼パンチだと、標準品の厚板抜き用ピaspンチで3～8千円程度です。特注パンチだとその何倍もします。価格が高くなる一番の要素は鋼材費です。本数がまとまれば、**再研磨費用+往復の送料<新規購入**となるケースが多々あると思います。もちろん、金属疲労などの考慮も必要ですので、選択肢の一つとしてのご紹介です。



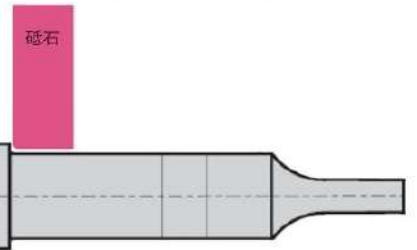
2種類の再研磨

再研磨には2種類の要素があります。

1つは「①パンチの刃先側から研磨する再研磨」です。これは平面研削盤を利用して自社で加工できる会社も多いです。先端にR加工のあるピaspンチやバーリングパンチ、テーパー加工のあるパイロットパンチなどは当社のようなパンチメーカーの方が加工環境があるように思います。

もう1つは、「②ツバの下側（通称：ツバ下）からツバの厚みを追い込む再研磨」です。

①で短くなったパンチのツバ下の長さを伸ばす必要があります。こちらはパンチを回しながら研削するので回転する設備や治具が必要になります。当社ではツバ下の研削加工が常に発生するのでR寸法に応じた砥石などもストックしています。



②ツバの下側からツバの厚みを追い込む再研磨

鋼材や標準品価格もさらに値上がりする可能性があります。対応策として、再研磨という選択肢をもっと知っていただけたらと思います。「これ（品名・サイズや図面）は再研磨できますか？」とお問い合わせいただければ、可否を回答できます。お気軽にお問合せください！

僕もパンチだから、
大人になったら再研磨して
もらおうかな！



タカノだけのオリジナル無給油化ツール特集！ 第1弾「oil-stick」！編

DIYのように自社で無給油部品を作れるツール「oil-stick」（オイルスティック）！
製造しているのはタカノだけ！

摺動部(スライド部)の潤滑トラブル対策として提供している、オリジナル商品「oil-stick(オイルスティック)」。

これをはじめとする当社の無給油化ツールをまとめてご紹介します。
販売開始から**早15年**、多くの金型や設備の潤滑課題に貢献してきました。
知る人ぞ知る、とても便利な無給油化サービスです♪

現在提供している無給油化サービスは大きく分けると4つに分類できます。

あらゆる部品に固形潤滑剤を複合させるべく、商品・サービスを展開するなかで4つの分類にたどり着きました。

4つのサービス分類

- ①oil-stick
- ②オイルレスピン・シャフトの受託加工
- ③オイルポリマーの販売
- ④固形潤滑剤の埋設サービス

① oil-stick 編

タカノのオイルレスサービスを代表する商品です。必要な長さで自分でカットする「スティックタイプ」と既に定寸でカットしてある「タブレットタイプ」のどちらかを選択します。

◆スティックタイプ



◆タブレットタイプ

(スティックタイプを定寸でカットしたものです)



必要分を切って、摺動部品に穴を開けて、DIY感覚で自分で埋設します。ちょっとしたコツもありますが慣れれば問題なく埋設が可能です。もうすでにたくさんの方が使用しています。サイズも直径Φ2・3・4・6・8・10・12mmを標準で揃えています。

小さい部品の無給油化ならoil-stick一択!

中でも、Φ4とΦ6サイズの販売が群を抜いています。小さいサイズのオイルレスプレートなどは標準規格ではラインナップがほぼ無く、Oil-Stickを利用して製作する方法が唯一の手段となっているようです。

4系統であらゆる状況に適用可能! 潤滑油の再充填ができる「RE系」が推し!

oil-stickには4つの系統があります。

▶ S系
スタンダード
タイプ



▶ Re系
潤滑油再充填
可能タイプ



▶ F系
フッ素油使用の
潤滑油再充填
可能タイプ



▶ H系
耐熱200°C
タイプ



一番のお勧めは「RE系 (潤滑油再充填タイプ)」です。内部構造が微細なスポンジ状になっており、長期利用後や洗浄後などに潤滑油を注油しておくことで染み込んでいくので再び使用することが可能です。

oil-stick
使用方法

埋設もDIYの要領で!



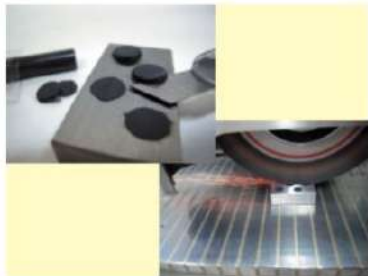
①無給油化したい面に穴をあけます



※手の保護具を着用ください
②oil-stickを穴深さよりも少し長めにカット



※保護メガネを着用ください
③埋込みます。



④余分な部分をカット



⑤無給油化完了★



すご〜く便利なツールなのに、まだ知らない人もたくさんいるらしいんだあ。もっと広まったらいいなあ!

残り3つのサービス分類については次回以降のセールスレターでご紹介しますね!

株式会社タカノ 本社

〒373-0022 群馬県太田市東金井町1237

TEL 0276-22-6270 FAX 0276-22-6278

Website: <https://www.kk-takano.co.jp>

E-mail: web@kk-takano.co.jp

ホームページ



kk-takano.co.jp

Instagram



@takano.co.ltd

Facebook



TAKANO.NET



LinkedIn



ご意見はQRコードから



ご意見はQRコードから